

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!

コンクールを目指して 切磋琢磨する熱くて 楽しい団員たち!

REPORT 148

結成当時、毎回、練習場所を求めて転々と流浪(ルロウ)していたことから付けられた小牧を拠点に活動を続ける吹奏楽団です。結成から27年が過ぎ、団員の皆さんに話を聞いてきました。



昨年の演奏会の時の1ショット

現在では高校生から50歳代の人まで45人余のメンバーで活動をしています。毎年、「全日本吹奏楽コンクール」に参加するほか、「定期演奏会」、子ども向けの「わくわく音楽会」の演奏会を主催、市が開く「吹奏楽フェスティバル」などの演奏会や地域のイベントにも積極的に参加し、演奏を披露します。



常任指揮者・指導者としてルロウをの遠藤さん。自身もサクソフラスとソロリサイタルなど開催しています。

ルロウの成長には…

2005年、吹奏楽指導者として活躍していた遠藤宏幸さんを常任指揮者として招きました。現在、名古屋芸術大学准教授を務める遠藤さんは、楽団のメンバーのことを「音楽を本当に大切にしている人の集まり。大人になっても音楽に真剣に向き合う熱いメンバーだね!」と、笑いを交え語ります。

遠藤さんがルロウの指導者に就任してから、団員はメキメキと腕を上げ、コンクールでは8年連続、東海大会に出場するほどまで成長しました。

メンバーの思い

毎週土曜日夕方になると、新町にある練習場所に、皆が集まってきます。合同練習が終わってもパ



合同練習が終わってもパートや個人練習を始める団員の皆さん



ート練習や個人練習、グループでの練習などを続けます。週一回の練習だけでは、自分の満足できる演奏ができない、自分だけがサボって曲をマスターしてこないと皆に迷惑だから、大きな音の出る楽器なので個人練習はカラオケです、など団員の皆さんは真面目すぎるほど真面目に演奏に取り組んでいます。「皆、真剣だから、目標としていた賞が取れなかった時は涙を流す。大人になっても青春しますね」と、笑った団員の言葉が印象的です。

5月24日(日)には、第27回定期演奏会が開かれ、夏に行われる全日本吹奏楽コンクールの課題曲も披露されます。

入場無料

第27回定期演奏会

日時：5月24日(日)
午後1時30分開演
(1時開場)
場所：市民会館大ホール
演奏：吹奏楽のための協奏曲
高昌帥
組曲「ロメオとジュリエット」
プロコフィエフ

3月から団長となった安藤拓也さんは「楽しいことが一番。いい音楽を演奏して楽しみたい」と、これからの抱負を話してくれました。

※団員募集中です!
ホームページを見てください
見学も歓迎です!

編集後記



みくる

大人になっても自分のために頑張れるっていいなあと思いました。年齢や性別などが違っても「音楽が好き」だけでこんなに和気あいあいとして楽しそつで本当に素敵なお友達の皆さんでした。

今回の取材先

ルロウブラスオルケスター

<https://www.ruroublas.com/>

自宅で優雅に アウトドアを満喫しよう



木の温もりと盛りだくさんのアウトドアグッズ

生活の一部にアウトドアを取り入れる、アーバンアウトドア。頑張らなくても、すぐここで楽しめる。おしゃれなアウトドアとの共生空間。そんな素敵な場所を提案してくれる場所が小牧にありました!

アウトドアが好き、そんな思いから始まったのがこのエンズホームのユニークなスタイル。
アウトドア用品の大手・スノーピークは販売だけでなく、生活の一部にアウトドアライフを取り入れることを提案する「アーバンアウトドア」という事業を展開していました。それを知ったエンズホームの小縣さん

は、スノーピークの門をたたき、コラボが実現するまではたったの4か月。その期間の短さは、永久保証をうたい、社員自らユーザーたれ、というスノーピークの理念とエンズホームの家づくりの理念が一致していたからです。

今の生活に少しプラス

アウトドアを楽しみたい

けど、準備も大変だし、気候や天気も心配、と二の足を踏むことはありませんか。

今では以前と違って不衛生なイメージを払拭し、温泉などもある快適なキャンプ場も増えてきているとはいえ、やっぱりちょっと準備が面倒だな、と思うことも。

エンズホームの提供するアーバンアウトドアは、家の中、半外、外を上手につなぎ、自宅にいながらアウトドアをおしゃれに楽しむという考え。

マイナスの要素はありません。場所をとるアウトドア用品を、ただ収納しておくのではなく生活に取り入れる。半分ずつの優雅な空間なのです。

また、アウトドア用品を備えて使用することは災害時への備えにもなり、まさ



エンズホームの小縣さん

にプラスばかりです。

まずは気軽に寄ってみて

ショップの中にある商品は自分で見て触れて確かめることができます。自分でコーヒーをつくる「セルフコーヒーコーナー」があり、そこでエンズホームとスノーピークが提案するアウトドアな生活の一端が味わえます。

特に広告や看板を出さず、インスタグラムとフェイスブックでしか知ることができないお店。

それなのに市内だけでなく市外からもたくさんの方が訪れるのは『ショップで商品を買っても買わなくても構わない。まして、エンズホームで住宅を作ることとつなげるツールだと思っ てほしくない』という店主の商売つきのなさをからくる気軽さと居心地の良さに違いありません。

アウトドア大好きな小縣さんの企画で、毎年秋に家を建ててくれた人や来店者に声を掛けて行うエンズキャンプでは、140人ももの参加者にぎわい、アウトドアを楽しみます。

自分の家を、ちょっとアウトドア寄りにカスタマイズしてみませんか。



知る人ぞ知る店の外観。エンズは〇'Sって表現するのです！ユニークです

編集後記



ヤンメイ

外ではない、でも中でもない、そんな空間から見ると見慣れた景色が少し変わっていい感じ。アウトドア用品はアウトドアでしか使えない、と思っていた私は、素敵な世界を知ることができました。

今回の取材先

エンズホーム



住所 新小木234
54・5356
営業時間 午前10時〜午後5時
休み 水曜日

